

## 1. 基本方針

乳児期に大切な「子育て環境」を整え、一人ひとりを大切にする乳児保育に努め、子どもの潜在能力を引きだし、健やかに育つことができるようにする。また、それに伴って保護者支援にも努めていく。

## 2. 具体的施策

### (1) 一人ひとりを大切にする保育

避難に伴い保護者の通勤時間等も長くなり、関連して子ども達も保育所で過ごす時間が長くなった。

このことから保育所も子どもにとって第二の家庭であると捉え、一人ひとりの発達に合った保育をすることで、心身の発達に沿った保育を実践する。

### (2) 危機管理の徹底の継続強化

震災の経験を活かし、安全な避難方法や連絡方法等のマニュアルの見直し、常に災害に備えた環境整備に努めて行く。

### (3) 保護者が子育てを学ぶ場としての保育所づくり

避難生活により大所帯が分断され、世代間の子育て継承が薄れ、また、地域との繋がりも薄れているなか、保育所は、子育てを学ぶ場としての役割が求められている。そのため積極的に子育ての相談を受け支援していく。

### (4) 保育士としての専門性を高める

乳幼児期においては、人としてたくましく生きて行くための土台となる時期であるため、それを支える保育士の役割・専門性が問われ且つ重要であることから、常に自己研鑽し、積極的に所内研修や各種研修会への参加し、保育士としての質を高めて行く。